



WHEEL QUICK GUIDE

ホイールクイックガイド

この度は、ENVEホイールをご購入頂き、ありがとうございます。

ホイールをご使用いただく前に、必ずこのクイックガイドをお読み頂き、正しくご使用ください。

■使用可能なタイヤ

NEW SESシリーズは、ストレートサイドウォール(TSS) フックレス リムシステムを採用しております。

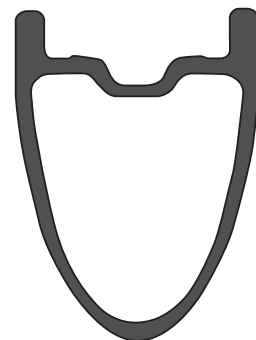
そのため「チューブレス・チューブレスレディ タイヤ」を使用する必要があります。

推奨タイヤリストは下記リンクをご確認ください。

<https://www.cog.inc/enve/elements/pages/tire-compatibility>



詳しくはこちら



■付属品

- 専用チューブステープ X1本(3ホイール分)
- プレッシャーリリーフバルブ X2個
- 専用バルブシステム X2個
- バルブエクステンダー X2個

必ず付属のテープ・バルブシステムをご使用ください。

バルブシステムの取り付けには、必ず付属のプレッシャーリリーフバルブをご使用ください。

★注意：使用せずトラブルが起こった場合 保証対象外となります。

★注意：ENVE は高精度で高密着なニップル構造になっておりリム内の気密性が高くなっています。
そのためリム内部に空気が溜まるのを防ぐためにプレッシャーリリーフバルブを使用します。

■チューブステープの貼り付け

リムを脱脂し作業を開始してください。

- 1) バルブ穴から10cm先の箇所で貼り始めます。
- 2) 中央の溝(ドロップチャンネル)を中心にシワなく貼り付けてください
- 3) 少し引っ張りながら10cmずつ丁寧に貼り付け、テープを手で伸ばしながら貼ると貼りやすいです。
- 4) 最後はバルブ穴を越え10cmほどでカットしてください。
- 5) テープは1周巻きます。(リムのETRTOサイズの純正テープを貼ることを前提で設計しています)
- 6) バルブ穴は、鋭利なもので穴を開け、バルブシステムを差し込み貫通させます。



詳しくはこちら

■タイヤの取り付け

片側ずつ 取り付けしていきます。

★注意：チューブステープにシワや傷、はがれなどが無いことを確認します。

- 1) チューブレス用バルブを取り付けて、プレッシャーリリーフバルブで固定します。
- 2) 片側のビードを中央の溝(ドロップチャンネル)に一周落とし込みます。
- 2) もう片側のビードをバルブ口が最後になるようにしてタイヤをはめ込みます。
- 3) 一度バルブコアを外し空気を入れてタイヤのビードを上げます。

★注意：最大エア圧以上に空気を入れないでください。

★注意：タイヤのビード部分に傷がないか 折れ曲がりがないかを確認してから取り付けてください。

- 4) ビードが上がったらシーラントを必ず入れてください。

★注意：チューブレスレディ仕様のリムですので、シーラントを必ずご使用ください。

※チューブレスレディ・チューブレスタイヤを使用している場合は、チューブを入れて使用することができます。

その場合空気圧はチューブ使用時でも最大空気圧以上入れないでください。

POINT：ビードワックスなどを使用するとビード上げが楽になります



詳しくはこちら

最大空気圧と推奨タイヤ幅

	SES 2.3	SES 3.4	SES 3.4	SES 6.7	ENVE45	ENVE65	G23	G27	AG25	AG28
AERO効果が最大となるタイヤサイズ幅	27mm	29mm	27mm	28mm	25-28mm	25-28mm				
最小のタイヤサイズ幅	25mm	27mm	27mm	25mm	25mm	25mm	27mm	38mm	27mm	38mm
最大のタイヤサイズ幅	32mm	55mm	55mm	45mm	45mm	45mm	45mm	55mm	45mm	55mm
最大空気圧	90PSI 6.2BAR	80PSI 5.5BAR	80PSI 5.5BAR	90PSI 6.2BAR	90PSI 6.2BAR	90PSI 6.2BAR	60PSI 4.1BAR	40PSI 2.7BAR	55PSI 3.7BAR	45PSI 3.1BAR
タイヤタイプ	チューブレス レディ	チューブレス レディ	チューブレス レディ	チューブレス レディ	チューブレス レディ	チューブレス レディ	チューブレス レディ	チューブレス レディ	チューブレス レディ	チューブレス レディ

5) 体重や使用する環境に応じて、空気圧を変更することをお勧めします。

★注意：リム最大空気圧は必ず守ってください。

タイヤの最大空気圧がリムの最大空気圧よりも低い場合は、タイヤの最大空気圧に合わせてください。

推奨タイヤ空気圧リストは
下記リンクをご確認ください。

<https://www.cog.inc/enve/elements/pages/tire-pressure>



詳しくはこちら

■ホイールのメンテナンスについて

定期的なメンテナンスと確認

ENVEホイールを長くご使用いただくために 年に一度、もしくは大きな衝撃を与えた際は必ず確認してください。

- ホイールがふらふら動く
- フレームに一部当たる
- スポークが緩い部分があり
- スポークがカタカタと音がする

などが発生した場合は、ホイールに問題がある可能性があります。

使用を一時停止し、ご購入いただきました販売店で点検整備をしてください。

安心してご使用して頂くために、ホイールはダイアテックにて、組み立て、もしくは検品をして販売しております。

(一部 ENVEホイールビルダー認定店で組み立てられている製品もございますが同等に規定に沿って組み立てられています。)

ENVEホイール 検査基準

- 縦ふれ 0.35mm以内 ● 横ふれ 0.35mm以内
- スポークテンション

NEW SES シリーズ / G シリーズ / M シリーズ

前輪 ディスクブレーキ側のスポーク 120kgf / 後輪 ドライブ側(ギア側)のスポーク 120kgf

ENVE45・65 シリーズ

前輪 ディスクブレーキ側のスポーク 110kgf / 後輪 ドライブ側(ギア側)のスポーク 110kgf

AM30・AG シリーズ

前輪 ディスクブレーキ側のスポーク 100kgf / 後輪 ドライブ側(ギア側)のスポーク 100kgf

■ハブのメンテナンスについて 長く安全にご使用していただくための注意点

ハブのメンテナンスは、特定の工具と技術を要します。お買い求めいただきました販売店のご依頼ください。

リヤハブは走行距離1,000kmを目安に定期的なメンテナンスをお願いします。

- 雨天使用及び洗車時にハブ内部に水分が入った可能性がある場合、十分に乾燥させフリーボディー内部の水分を取り除いてください。
- 指定のグリスでグリスアップを行ってください。
- 定期的なメンテナンス(清掃グリスアップは走行距離1,000kmを目安に)
※内部のグリスがなくなっている・汚れている場合は、MAVIC純正グリスを使用してください。
※チェーンオイルや脱脂剤はゴム製品(シール)への攻撃性の高いものは使用しないでください。

内部が錆びてしまった場合

- 40t ラチェット 2枚・内部スプリングの交換と内部の清掃(有償)

★注意: ラチェット部のサビがひどい場合は、フリーボディーの交換も必要になる場合がございます。

■保証について

2022年5月26日より保証内容が変更となっております。(5月25日以降の販売・ユーザー登録分より対応)

ENVEは、ユーザー様にパフォーマンス面で最も信頼していただけるパートナーを目指しています。これはつまり、最も耐久性と信頼性の高い製品を作り、必要なときにサポートを提供することを意味します。

ENVEのすべてのホイールとコンポーネントには、次の保証が付帯します:

■ENVE Factory Limited Warranty【エンヴィ・ファクトリー限定保証】

購入日から5年間、素材および製造上の欠陥に対して保証いたします。

なお、購入後1週間以内に製品登録していただく必要があります。中古でご購入の場合は、製品の製造年月日から保証されます。

■ENVE Incidental Damage Protection【エンヴィ・インシデント・ダメージ・プロテクション】

このプログラムは、レース、ライド、またはバイクの輸送中に製品に生じた損害を比例配分で保証するものです。

なお、購入後1週間以内に製品登録していただく必要があります。

詳しくはHPをご参照ください https://www.cog.inc/enve/enve_warranty



詳しくはこちら

お問い合わせは、ご購入頂いたENVEホイール販売店 または、

ダイアテック株式会社 お客様相談室

TEL 075-702-7766 (平日10:00-17:00)

diatec Ltd.

〒603-8035 京都府京都市北区上賀茂朝露ヶ原町10-19